



エコアクション21

認証番号0008854

環境活動レポート

2018年5月 ～ 2019年4月



『一人ひとりの意識改革・新たな創造に挑戦します』

博多金物 株式会社

2019年6月22日 発行

目 次

会社概要	1
組織図	2
環境方針	3
認定証・許可一覧	4
施設・設備の内容	5
処理工程図	6
受託した産業廃棄物の実績	7
2018年度 環境活動計画と取組結果の評価	8
2018年度 環境目標の実績・取組結果とその評価	9
2019年度 環境目標 ・ 環境活動計画	10
環境関連法規等の遵守結果	11
代表者による全体の評価と見直し結果	12
社会貢献活動	13・14



会 社 概 要

1) 事業者名および代表者名
博多金物 株式会社 代表取締役 **白石 浩一**

2) 所在地 (宮崎県延岡市大武町 延岡鐵工団地内)
 本 社 事 務 所 〒882-0024 宮崎県延岡市大武町39番地71
 リサイクルセンター 〒882-0024 宮崎県延岡市大武町39番地69
 破 碎 工 場 〒882-0024 宮崎県延岡市大武町39番地68



本社事務所

破碎工場



3) 環境管理責任者及び事務局及び連絡担当者
 EA-21 責任者 : 専務取締役 渡邊 亮介
 EA-21 事務局 : 総務部 白石 弥生
 連絡担当者 : 白石弥生 [EA-21事務局]
 TEL 0982-35-6385
 FAX 0982-35-6387
 E-mail shiraishi@hakatakanamono.jp

4) 創業年月日 昭和33年10月17日

5) エコアクション21認証・登録 認証登録日 2012年11月2日
 認証・登録番号 0008854 更新登録日 2018年11月2日
 有効期限 2020年11月1日
 範 囲 全社・全組織・全活動

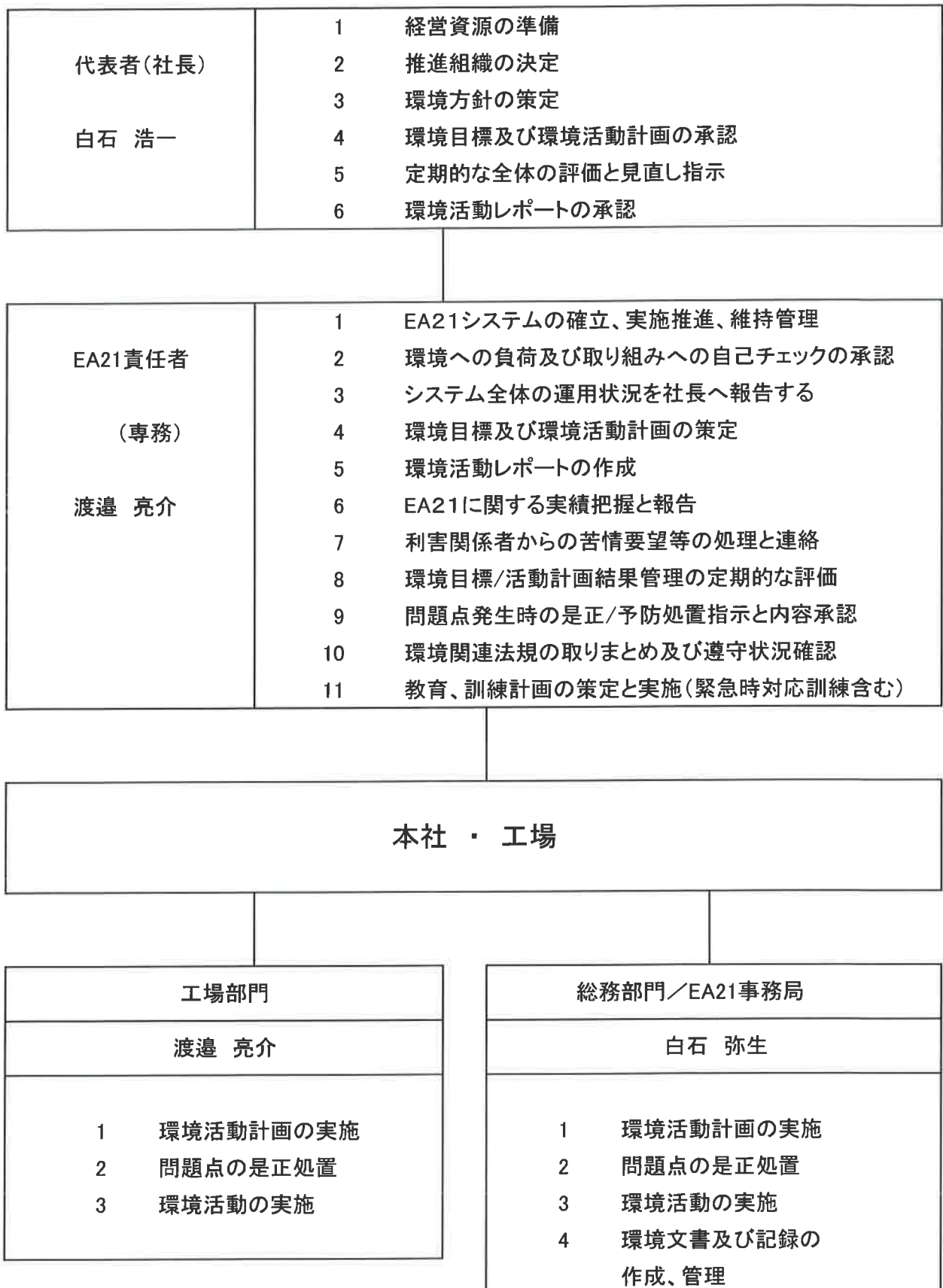
5) 事業活動の内容

- * 産業廃棄物収集運搬業(特別管理産業廃棄物含む)
- * 産業廃棄物処分業(中間処理業)
- * 金属スクラップ加工処理業
- * 故非鉄金属、故機械、電気器具類の売買業
- * 重量物計量事業、計量器修理事業
- * 解体工事に伴い発生する廃棄物の分別・再資源化の請負業

6) 事業規模

項目	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
資本金	万円	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
売上高	百万円	614	562	841	977	1,125
従業員数	人	12	12	18	17	17
床面積	m ²	3,201	3,054	3,054	3,054	3,054
敷地面積	m ²	9,409	9,409	9,409	9,409	9,409

組 織 図



環 境 方 針

博多金物株式会社は、地域社会及び地球上のすべての人々とともに「持続可能な発展」をするために、「環境保全につとめ、環境にやさしい企業活動を行う」を基本理念とする。
以下の環境方針に基づき、全社員が環境へ配慮した環境保全活動を行う。

1. 当社は、金属スクラップ及び産業廃棄物の処理事業及びリサイクル活動を行う。
2. 環境マネジメントシステムは環境汚染の予防を目的とし、目標の達成、是正活動の継続的改善を行う。
3. 環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び当社の環境側面に関係して、当社が同意するその他の要求事項を遵守する。
4. 環境方針の達成のために、自社が技術上・経済上の可能な範囲で、環境目的、目標、環境マネジメントプログラム(物事の予定・番組)を策定し、環境保全活動を推進する。
5. 環境方針は、文書化され、維持される。
6. 環境保全活動では、自社の特徴である金属スクラップの加工処理を中心に、次のことについて重点的に取り組む。
 - ① CO₂ の削減及び水使用量の削減
 - ② 廃棄物の削減、リサイクルの促進及び環境ビジネスの促進
 - ③ グリーン購入・調達促進
7. 受託した産業廃棄物の再資源化に取り組み、リサイクル率向上を図る。収集運搬では、収集運搬車両のエコドライブを実践し、省エネと排気ガスの抑制に取り組む。
8. 環境方針は全社員に周知し活動へ結びつける。環境方針は、当社のために働く全ての人々にも周知を図り(掲示)、理解と協力を得る努力をする。環境方針は、組織や環境変化に応じて見直される。
9. 環境方針は、一般の人々が入手可能なようにする。

平成24年4月17日

博多金物 株式会社

代表取締役 白石 浩



認定証・許可一覧

古物商	交付	昭和40年4月8日	登録番号	第3384号（宮崎県公安委員会）
	事業の区分	行商 = する		
計量証明事業	登録	平成元年6月6日	登録番号	第43号（宮崎県知事）
	事業の区分	質量にかかる計量証明の事業		
計量器修理事業	登録	昭和63年5月31日	登録番号	第44号（宮崎県知事）
	事業の区分	質量計第四類		
電子マニフェスト加入者番号	処分業 3011811		収集運搬業 2001894	
産業廃棄物 中間処理業	許可日	平成26年8月25日	許可番号	第04528047880号（宮崎県知事）
	有効期限	令和1年8月24日	事業区分	中間処理業（圧縮・切断、剥離）
	種類	《圧縮・切断》	金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず ゴムくず、廃プラスチック類、木くず（5種類）	
		《剥離》	金属くず、廃プラスチック類（2種類）	
産業廃棄物 収集運搬業 （宮崎県）	許可日	平成29年5月30日	許可番号	第04518047880号（宮崎県知事）
	有効期限	令和4年5月29日	事業範囲	積替え・保管の有無 あり
	種類	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず 繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリート及び陶磁器くず、 鋳さい、がれき類、ばいじん（15種類）		
産業廃棄物 収集運搬業 （山口県）	許可日	平成26年9月15日	許可番号	第03500047880号（山口県知事）
	有効期限	令和1年9月14日	事業範囲	積替え・保管の有無 なし
	種類	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず 繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリート及び陶磁器くず、 鋳さい、がれき類、ばいじん（15種類）		
産業廃棄物 収集運搬業 （北九州市）	許可日	平成30年6月18日	許可番号	第07600047880号（北九州市長）
	有効期限	令和5年6月17日	事業範囲	積替え・保管の有無 なし
	種類	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず 繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリート及び陶磁器くず、 鋳さい、がれき類、ばいじん（15種類）		
特別管理 産業廃棄物 収集運搬業 （宮崎県）	許可日	平成29年5月21日	許可番号	第04568047880号（宮崎県知事）
	有効期限	令和4年5月20日	事業範囲	積替え・保管の有無 あり
	種類	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、ばいじん、廃石綿等（7種類）		
特別管理 産業廃棄物 収集運搬業 （山口県）	許可日	平成30年3月8日	許可番号	第03550047880号（山口県知事）
	有効期限	令和5年3月7日	事業範囲	積替え・保管の有無 なし
	種類	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、ばいじん、廃石綿等（7種類）		
特別管理 産業廃棄物 収集運搬業 （北九州市）	許可日	平成30年6月18日	許可番号	第07650047880号（北九州市長）
	有効期限	令和5年6月17日	事業範囲	積替え・保管の有無 なし
	種類	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、ダスト類（6種類）		
第一種フロン類 回収業	登録	平成26年7月9日	登録番号	4570100464（宮崎県知事）
	事業の区分	第一種フロン類の回収		

施設・設備の内容

中間処理施設・能力

種類	所在地	処理能力ほか
圧縮・切断施設	延岡市大武町39番地71	20 t / 日
剥離	延岡市大武町39番地69	3 t / 日
積替え保管	延岡市大武町39番地69	保管上限 9.41 m ³



運搬車両

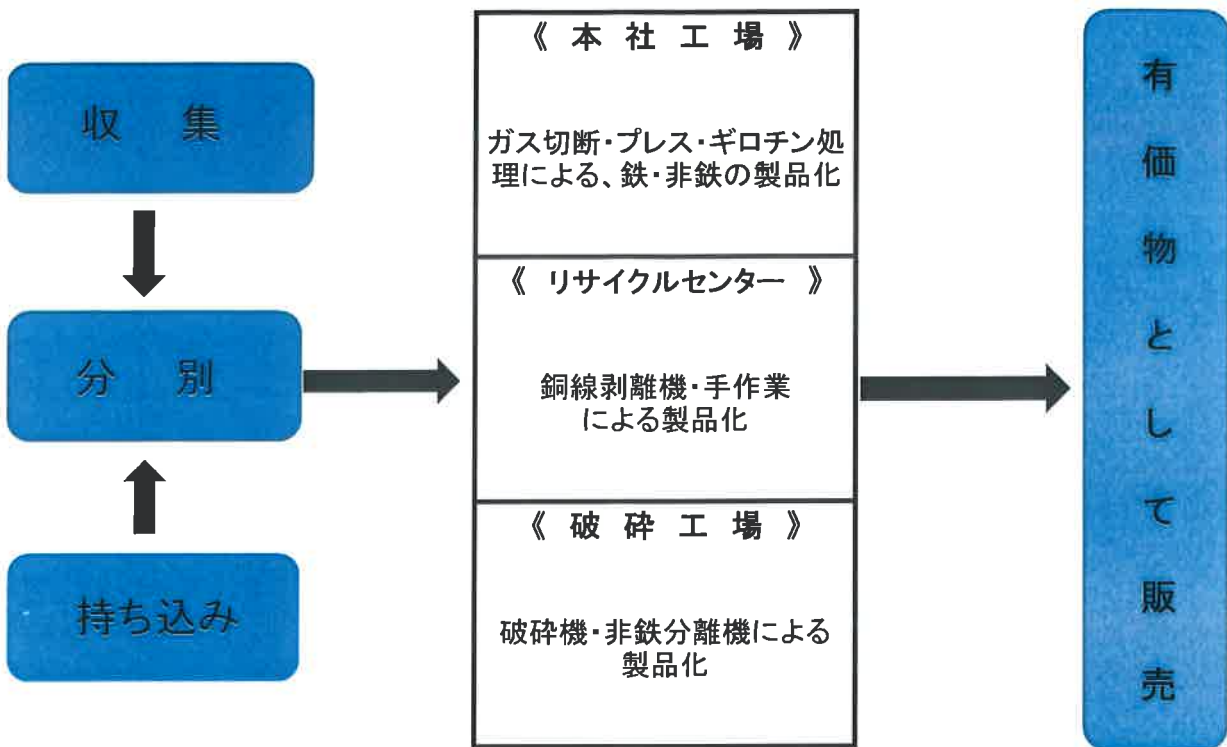
登録番号	トン数	車両名	収集運搬業用
宮崎100は482	10. 25t	キャブオーバ	○
宮崎100さ1319	3. 0t	キャブオーバ	○
宮崎11ゆ225	5. 6t	キャブオーバ	○
宮崎100は908	8. 7t	キャブオーバ	○
宮崎41た5146	0. 35t	キャブオーバ	○
宮崎400せ8478	2. 0t	キャブオーバ	○
宮崎100は2246	8. 0t	キャブオーバ	○
宮崎100は846	10. 1t	ダンプ	○
宮崎100は2001	10. 1t	ダンプ	○
宮崎41ね6234	0. 35t	バン	○
宮崎100す404	3. 75t	脱着装置付コンテナ専用車	○
宮崎100す405	3. 75t	脱着装置付コンテナ専用車	○

主要設備

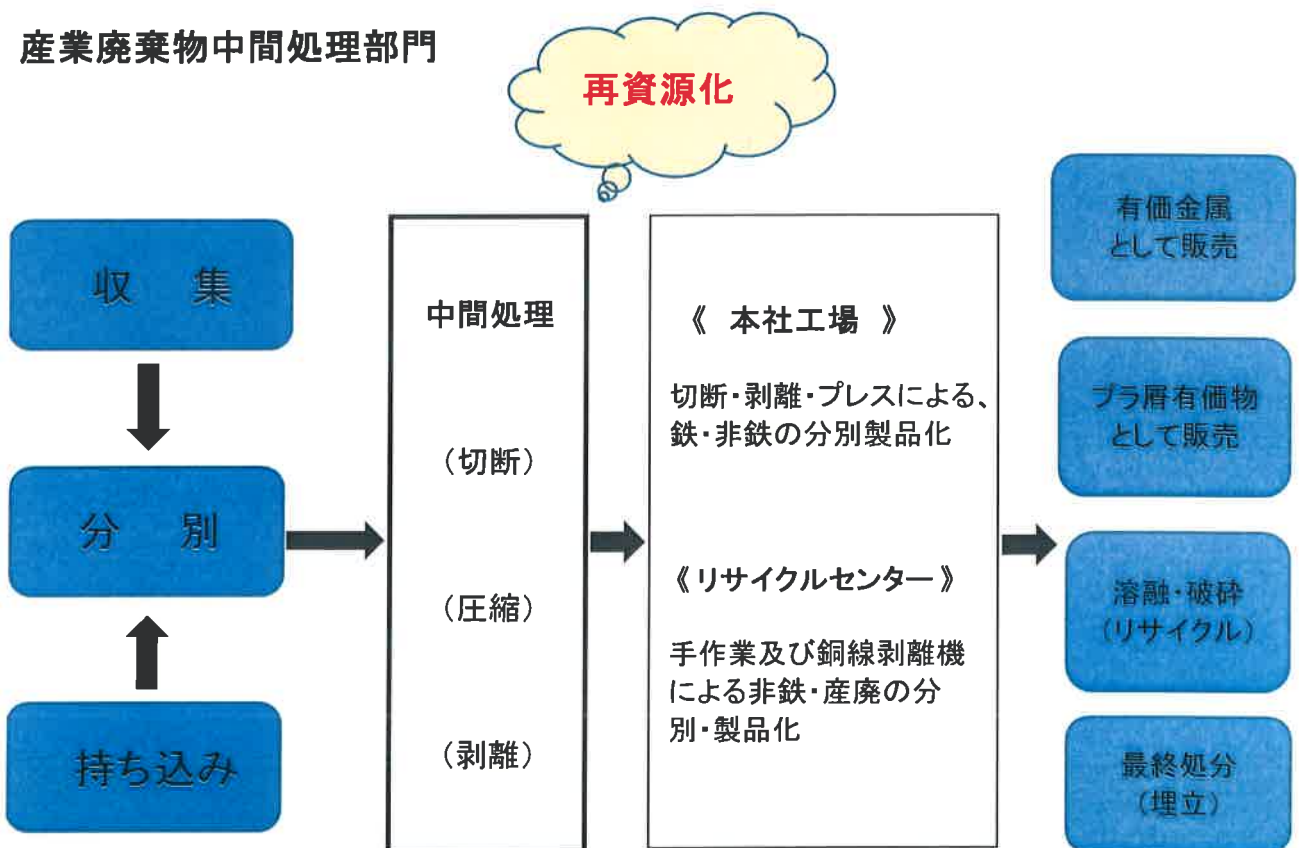
本社ヤード	400 t シャープレス	1基	600 t ギロチンシャー	1基
	80 t 電気式計量器	1基	40 t 普通式計量器	1基
	3 t フォークリフト	1基	荷役用グラップルユンボ	1基
	5 t 天井走行クレーン	1基	3 t 天井走行クレーン	1基
	リフティングマグネット	1基		
リサイクルセンター	2. 8 t 天井走行クレーン	1基	2 t 天井走行クレーン	1基
	30 t 電気式計量器	1基	2. 5 t フォークリフト	1基
	1 t フォークリフト	1基	被覆電線解体機	2基
	2 t グラップルリフト	1基		
破砕工場	600型シュレッダー	1基	非鉄選別機	1基
	7. 8 t テルハ	1基	1 m ³ ホイルローダー	1基
	0. 7 t 解体用ユンボ	1基	0. 3 t 解体荷役用ユンボ	1基
	荷役用スクラップハンドラー	1基	リフティングマグネット	1基

処 理 工 程 図

鉄・非鉄処理加工部門



産業廃棄物中間処理部門



受託した産業廃棄物の実績

2018年（2018年5月～2019年4月）

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)	
(i) 収集運搬	木屑	/	1.50	
	コンクリート屑		25.10	
	廃油・他		5.08	
	沿蓄電池		0.69	
収集運搬量合計			32.37	
(ii) 中間処理	木屑	切断・圧縮	29.90	
	廃プラ屑	切断・圧縮・剥離	249.78	
	ガラス屑	切断・圧縮	237.34	
	金属屑	切断・圧縮・剥離	310.07	
	混合	切断・圧縮・剥離	163.42	
	うち 再資源化等	金属屑	再生	310.07
		廃プラ屑	再生	22.49
		コンクリート屑	再生	232.69
		廃プラ・ガラス屑	溶融	97.25
		木屑	破碎	29.90
		再資源化等量小計		692.40
中間処理合計			990.51	
(iii) 最終処分				
最終処分量合計				
(iv) 中間処理後の 産業廃棄物	最終処分	混合	埋立(委託)	296.6
	再資源化等	金属屑	原材料として出荷	310.07
		廃プラ屑	原材料として出荷	22.49
		廃プラ・ガラス屑	溶融後、原材料化	97.25
		コンクリート屑	破碎後、再利用	232.69
		木屑	破碎後、再利用	29.90
再資源化等量小計		692.40		
中間処理後処分量合計			989.00	

5月末残 1.51 t

2018年度 環境活動計画と取組結果の評価

電気使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ① エアコンフィルターの定期清掃 ② 照明器具(電球・蛍光灯)の随時LED化 ③ 不在・不要箇所の徹底消灯・昼休み消灯 ④ 金曜日のNO残業DAY化 	本社事務所2階部分のLED化を行った。来年度は、1階部分のLED化を計画している。
ガソリン使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ① エコドライブの徹底 アイドリングストップ・法定速度の遵守 ② タイヤの空気圧の定期点検 	ガソリン車使用時の意識は変わってきたが、リフトについては今後も使用に工夫が必要だ。
軽油使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ① エコドライブの徹底(アイドリングストップ) ② 運搬計画(経路・時間帯)の工夫 ③ 低速ギアの使用制限(回転数を上げない) 	車両使用時・運搬作業時の意識が変わってきた。今後も全社員一丸となって取り組んでいきたい。
廃棄物の削減 (一般廃棄物)	<ul style="list-style-type: none"> ① 廃棄物の分別計量と記録 ② コピー用紙の裏紙利用・両面コピー ③ 自社発生ジュース缶の分別・リサイクル 	一般廃棄物の削減については、計画通り出来ている。新たな計画に今後取り組みたい。
(中間処理廃棄物)	<ul style="list-style-type: none"> ① 入荷廃棄物の整理整頓 ② 中間処理での分別・再資源化の徹底 ③ マニフェスト用紙の即時起票 	再生率の向上に向けて今後も努力を続けていきたい。
水資源使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ① 定期的な漏水点検 ② 蛇口付近に「節水」張り紙・注意喚起 ③ 雨水貯留・雨水の利用促進 	水資源の使用量の削減と節水意識を今後も持ちたい。
グリーン購入の促進	<ul style="list-style-type: none"> ① 購入するときはグリーン商品を優先して購入し、購入量を把握する 	グリーン商品を今後も意識して選ぶ。
環境保全活動の取組推進(ボランティア活動の実施)	<ul style="list-style-type: none"> ① ボランティア活動に積極的に参加 ② 事務所及び工場周辺の清掃活動 ③ 自転車通勤の推進 	



2018年度 環境目標の実績・取組結果とその評価

取組項目	実施区	2018年5月～2019年4月		目標の実績	取組と評価
		目標	実績	○・×評価	
1.二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	全体	671,571.6	570,050.0	○	二酸化炭素の削減目標は達成できた。しかし、仕事量の増加に伴い、削減が難しいこともあるので、経営効果と効率化の両面に注力して、今後も取り組んでいこうと思う。
①電気使用量の削減 (総電気使用量) (kWh)	全体	581,898.0	430,610.0	○	目標は達成できた。工場では、今後も処理効率と段取りに気を配って行って欲しい。こまめな節電の工夫も引き続き続けて行ってほしい。
②ガソリン使用量の削減 (L)	事務所	536.4	517.9	×	工場のガソリン使用量がわずかに目標値を上回ってしまったが、リフト作業の増加が一因とみられる。作業内容の再検討をしていきたい。
	工場	3,263.4	3,553.0		
	全体	3,799.8	4,070.9		
③軽油使用量の削減 (L)	全体	123,048.6	118,235.5	○	軽油使用削減の努力は、一定の成果が見られるので、今後も続けて行きたいと思う。長期的には、車両の入れ替えも検討していきたい。
2.廃棄物の削減				○	徹底した分別と、再生を行い、一般廃棄物削減目標を達成することができた。今後も引き続き努力していこうと思う。
①一般廃棄物の削減 (Kg)	全体	466.8	460.0		
②中間処理後の再資源化率向上	工場	50.5%以上	68.3%		
3.水資源使用量の削減				×	こまめな節水と、雨水利用を続けてきたが、削減目標には少し届かなかった。工場での作業量が増加するとクーリングでの水使用量が増えることも一因と考えられる。今後も工夫を重ねていきたいと思う。
(年間水資源総使用量) (m ³)	事務所	91.2	92.6		
	工場	426.1	432.6		
	全体	517.3	525.2		
4.グリーン購入の促進				○	グリーン商品を優先購入することができた。今後も引き続きグリーン商品購入を続けて行きたいと思う。
(グリーン製品を優先して購入)	全体	45%以上	67.7%		
5.環境保全の取組推進				○	目標以上の活動参加ができた。地域に貢献できる会社を目指して、今後も地域の行事には積極的に参加して行きたいと思う。
(ボランティア活動の実施)	全体	10	15		

[備考] 電気使用量のCO₂排出係数は九州電力H26年度の0.584Kg-CO₂/kwhを使用しています。

2019年度 環境目標

2019年度目標値

二酸化炭素排出量 55,683.1Kg-CO ₂ /月 ガソリン使用量(事務所) 44.5L/月 軽油使用量 10202.5L/月 産業廃棄物再資源化率 51.0% 水資源使用量(事務所) 35.3m ³ /月 ボランティア活動 10回/年	電気使用量 48,247.8kWh/月 ガソリン使用量(工場) 270.6L/月 一般廃棄物量 38.7Kg/月 水資源使用量(事務所) 7.6m ³ /月 グリーン購入比率 50%
---	--

2019年度 環境活動計画

取組み項目 (目標項目)(単位)	当年度の活動計画		
	活動内容	推進部門 責任者	実施 スケジュール
1. 二酸化炭素排出量の削減 (Kg-CO ₂)	実施スケジュールの年間は、5月～翌年4月とします		
①電機使用量の削減 (総電気使用) (KWh)	①照明器具のLED化 ②エアコン使用時の適正温度設定と扇風機併用 ③夏季ボイラーの使用中止 ④エアコンフィルターの定期清掃	渡邊亮介	①②④ 年間 ③ 5月～10月
②ガソリン使用量の削減 (L)	①エコドライブの徹底 アイドリングストップ・法定速度遵守 ②リフト使用時の工夫	富田直人	年間
③軽油使用量の削減 (L)	①エコドライブの徹底(アイドリングストップ) ②運搬計画(経路・時間帯)の工夫 ③低速ギアの使用制限(回転数を上げない) ④燃費の良い車両の優先運行	渡邊亮介	年間
2 廃棄物の削減 ①一般廃棄物の削減 (Kg)	①段ボール・冊子類のリサイクル ②使用済み封筒の再利用 ③書類の電子化・コピーの回覧の徹底	白石弥生	年間
②中間処理後の 再資源化率向上	①入荷廃棄物の分別・再資源化の促進 ②廃棄量最少を目標にした中間処理 ③マニフェストの定期確認	白石弥生	年間
3. 水資源使用量の削減 (年間水資源総使用量) (m ³)	①雨水貯留用ドラム缶を随時増やす ②洗車時の節水を意識する ③手洗い時の節水を心掛ける	富田直人	年間
4. グリーン購入の促進	①物品購入時はグリーン製品を優先して購入する。 ②グリーン商品リストを作成する	白石弥生	年間
5. 環境保全の取組促進 (ボランティア活動の実施)	①自転車通勤の推進 ②ボランティア活動に積極参加 ③草取りを定期的に行う	渡邊亮介	年間

環境関連法規等の遵守結果

環境関連法規への違反、訴訟はありません。また、関係当局からの違反等の指摘もありません。下記関連法規一覧表を元にチェックしました。

当社に適用される法規等、現在まで遵守しており、遵守状況は環境管理責任者が8月・11月・2月・5月の年4回確認し、改訂があった場合は必要に応じてその都度改訂します。

2019年5月確認		評価の結果 ○・×
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)	○
2	容器包装リサイクル法	○
3	使用済み自動車の再資源化等に関する法律 (自動車リサイクル法)	—
4	特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律 (オフロード法)	○
5	環境基本法	○
6	グリーン購入法	○
7	計量法	○
8	消防法(危政令)	○
9	フロン排出抑制法	○
10	宮崎県環境基本条例・延岡市環境基本条例	○

代表者による全体評価と見直し結果

評価項目	代表者による評価
①環境目標の達成状況	全体的には概ね良かったが、是正項目もあった。仕事量と正比例してしまう項目ではあるが、細かい事に気を配り、少しでもエコにつながるよう、努力は続けて行ってほしい。
②環境活動計画の実施及び運用結果	全員が計画の意味を理解し取り組んだ事が大変良かった。全て達成できたわけではないが、少しでも良くしようという一人ひとりの心掛けは感じたので、引き続き頑張ってもらいたい。
③環境関連法規等の遵守状況	産廃関係についても、しっかり法規を遵守し、適正処理を行っていることを評価する。しっかり知識と技術を身に付け、リサイクル率の向上に努めてほしい。
④外部からの環境に関する苦情や要望等	外部からの苦情等はなかった。これからも適正処理、安全運転等、しっかり気を配っていきたい。ボランティア等にも引き続き参加し、地域との交流も深めたい。
⑤その他、全般について	従業員一人一人が常に効率のよい作業を意識していた事を、大変良かったと評価している。改善すべき事、できる事があればどんどん提案し、実行してほしい。
代表者による指示	
①環境方針	ガイドラインの改訂に伴い、「環境経営方針」として内容の見直しを行うこととする。
②環境目標及び環境活動計画	新しい目標、計画を1年間行ってきたが、まだまだ改善していける事もあると思う。全員で協力して、小さな無駄や、無理を取り除いていく努力をしたい。
③環境関連法規等	最新の関連法規をしっかりと確認しながら、業務に取り組んでほしい。
④環境経営システム (その他全般)	地域とのつながりも充実していた。毎年の事ではあるが、廃品回収などに参加し、子ども達に「リサイクル」について伝えていける交流は、とても嬉しい事である。今後も、地域との交流を深めて、地域に必要とされる会社にしていきたい。
前回の指示	取組結果
①ガイドラインが新しくなる機会に、環境経営方針の見直しをしたらどうか。 ②環境効率指標の導入により、「削減」から自社の発展を伴う「環境リスク軽減」へと目標を見直したらどうか。 ③活動計画の見直しをしたらどうか。	①令和2年に改訂する事とする。 ②出荷量に対する軽油の使用量を管理し、数値化してみる事にした。 ③活動計画については、例年具体的に決めるのに苦労している。今年は照明器具の部分LED化(事務所2階部分の取り替え)を行ったので、来年度も引き続き行っていこうと思う。また、設備の大きな変更は難しいが、冷暖房使用時の扇風機の併用など、活動の中から気付いた事や改善したい事を積極的に取り入れていきたい。

社会貢献活動

ボランティア活動一覧表 [2018年度]

NO	発生区分	依頼元(依頼者名)	依頼内容	対応日
1	外	延岡市消防団	AED講習への参加	2018/5/11
2	外	延岡市消防団	水防訓練への参加	2018/5/20
3	外	港小学校長	学校周辺の奉仕作業	2018/5/27
4	外	奥東海区長	地区神社の清掃	2018/6/3
5	外	延岡市消防団	消防操法大会への参加	2018/6/8
6	外	鉄工団地組合	組合管理樹木の伐採 周辺草刈り	2018/7/15
7	外	奥東海区長	地区県道の清掃	2018/7/1
8	外	奥東海区長	地区広場の草刈り・清掃	2018/8/14
9	外	港小学校長	学校周辺の奉仕作業	2018/8/18
10	外	港小学校PTA	廃品回収協力	2018/8/18
11	外	延岡市消防団	台風接近のための警戒 台風通過後の復旧作業	2018/9/30
12	外	延岡市消防団	消防出初式	2019/1/6
13	外	延岡市消防本部	夜警活動	1/18～2/15
14	外	港小子供会	廃品回収協力	2019/2/24
15	外	宮崎県産業資源循環協会	第26回延岡アースディ	2019/3/17
16	外	延岡市	大師パレード警備	2019/4/14